

東桃谷小学校・勝山小学校 学校適正配置検討会議（第7回） 会議録

1. 日時

令和7年6月25日（水）19時から

2. 場所

東桃谷小学校 多目的室

3. 出席者

（委員）

金海委員、岸村委員、北代委員、山口委員、小西委員、葭矢委員、和田委員、渡邊委員

（学校）

末綱 東桃谷小学校長

徳元 勝山小学校長

（教育委員会事務局）

大川 生野区副区長 生野区教育担当部長

山東 学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長

嶋田 指導部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長

中條 生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長

奥田 学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理

佐藤 生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理兼教育政策課生野区教育担当課長代理

岸本 学事課学校適正配置担当係長

藤井 生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育政策課担当係長

大川 生野区役所地域まちづくり課兼教育政策課担当係員

石橋 生野区役所地域まちづくり課兼教育政策課担当係員

4. 議題

（1）校章の決定について

5. 報告

（1）校名・校章・校歌専門部会の報告について
校歌について

（2）通学路の安全対策専門部会の報告について

（3）東勝山小学校の教育について

6. 会議資料

- ・ 次第
- ・ 資料 1 校名・校章・校歌専門部会（第 5 回・第 6 回・第 7 回）の開催結果
- ・ 資料 2-1 東勝山小学校 校章募集チラシ
- ・ 資料 2-2 応募された校章デザイン案
- ・ 資料 2-3 校章アンケート
- ・ 資料 2-4 校章アンケート結果
- ・ 資料 3-1 校歌歌詞案の募集について
- ・ 資料 3-2 校歌歌詞案募集 HP・チラシ
- ・ 資料 3-3 校歌歌詞案の応募結果について
- ・ 資料 4 通学路の安全対策専門部会（第 1 回）の開催結果
- ・ 資料 5 東勝山小学校の教育について

7. 会議内容

（藤井係長）

- ・ それでは、定刻となりましたので、ただいまより第 7 回東桃谷小学校・勝山小学校学校適正配置検討会議を開会いたします。
- ・ 本日はお忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は本日、司会進行を務めます、事務局の藤井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・ なお、本日は生野区長の筋原は所用により欠席させていただいておりますので、ご了承くださいますようお願いいたします。
- ・ それでは開会に当たりまして、生野区副区長の大川よりご挨拶申し上げます。

（大川副区長）

- ・ 皆さんこんばんは。本日は暑い中お集まりいただきまして、ありがとうございます。
- ・ それと、先ほど司会からありましたけども、区長の筋原は所用で欠席ということで、私のほうから冒頭ご挨拶申し上げます。
- ・ この検討会議におきましては、昨年、新しい学校名を東勝山小学校ということを決定いただきまして、それ以降、専門部会で校章、校歌、あと通学路の安全対策について議論いただいているところです。
- ・ 本日は校章のこれまでの部会の報告と併せて、校章の決定についてご議論いただくということと、校歌と通学路の安全対策についても、この間の専門部会のご報告を申し上げますので、様々ご意見等頂戴できたらと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（藤井係長）

- ・ それでは、このたび人事異動がございましたので、新たに着任した者をご紹介します。
- ・ まず区役所のほうから、竹中に代わりまして、地域まちづくり課地域活性化担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課生野区教育担当課長代理の佐藤でございます。

(佐藤課長代理)

- ・佐藤です。どうぞよろしくお願いいたします。

(藤井係長)

- ・続きまして、教育委員会の出席者をご紹介します。
- ・岡永に代わりまして、教育委員会事務局総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性担当課長代理の奥田でございます。

(奥田課長代理)

- ・奥田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

(藤井係長)

- ・続きまして、現、徳元校長に代わりまして、教育委員会事務局指導部首席指導主事兼生野区役所子ども・未来担当課長の嶋田でございます。

(嶋田首席指導主事)

- ・嶋田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

(藤井係長)

- ・続きまして、勝山小学校の南校長に代わりまして、徳元校長でございます。

(徳元校長)

- ・勝山小学校長として着任しました徳元でございます。以前はここ（首席指導主事）に座っていましたが、今年はこのようにさせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

(藤井係長)

- ・なお、この会議につきましては、会議録作成のため録音させていただきます。録音の都合上、ご発言の際は、マイクのほうをご使用いただきますよう、よろしくお願いいたします。
- ・それでは、早速でございますが、次第に沿いまして、議題の校章の決定につきまして事務局の中條よりご説明いたします。

(中條課長)

- ・生野区役所の中條でございます。
- ・それでは、私のほうから、議題の校章の決定について、これまでの専門部会での議論、情報等についてご説明をさせていただきます。着座にてご説明させていただきます。
- ・お手元の資料ですけれども、資料1が開催結果の概要を記載させていただいております、資料2－1から2－4が校章の検討について、これまで使用している資料になりますので、

合わせてご覧いただければと思います。

- ・校章につきましては、これまで校名、校章、校歌専門部会において検討を重ねてまいりまして、まず校章を考えていく上でのデザインの原案について、専門部会の中で、子どもたちにも関わってもらいたい、子どもたちが考えるデザインなどもどのようなものか見てみたいというご意見もいただきまして、資料2-1のチラシにございますように、本年2月27日から3月19日にかけて、東桃谷小学校、勝山小学校の両校の在校生のご家庭に対して、デザイン案をご提案いただくように募集を行いました。
- ・次に、その結果をまとめたのが資料2-2でございます。
こちらは一部学校や事務局からの案も含まれておりますが、全部で119件のご提案となっております。その内、ご家庭からいただきましたのは、106件となっております。大変多くのご提案をいただき、誠にありがとうございました。
- ・次に、専門部会におきましては、これらのご提案いただいた案を基に、児童のご家庭向けにアンケートを行っていくに当たり、意見交換を行っていただきました。資料1とも併せてご覧いただけたらと思います。
- ・ご提案いただいたデザインの中には、似ているものが多かったり、また校名の記載のパターンも様々あったりもしまして、そういう中で、
 - ・デザインやコンセプトが似ているものは重複を避ける。
 - ・両校の校章と見ているものを重複しないように配慮が必要。
 - ・校章に入る項目については、新しい学校名、東勝山の3文字を縦書きとして統一する。というような方針を立てまして、それを踏まえて、6つのデザイン案をアンケートに掲載する原案として選定をいただきました。
- ・また、アンケートの実施にあたりましては、原案からデザインのサイズや理由等も含めて、事務局で加工・修正を行い、また原案では手書きのものもございまして、それらのものについてはイラストを作成するなどして、改めてアンケート全体を委員にご確認いただいて、東桃谷小学校と勝山小学校の全児童のご家庭を対象にアンケートを実施いたしました。
- ・資料2-3が、そのアンケート用紙でございます。①から⑥の6つの中から選んでいただくという形で実施いたしました。
- ・それから、アンケートを実施いたしました結果が、資料2-4でございます。
総得票数は、右下に記載しておりますけれども、307票ございまして、そのうち①の案が158票ということで、全体の51.5%と過半数の支持を得る結果となりました。
- ・この案については、両校のよさを大切にしながら一緒に仲よく歩み始めることをイメージして両方の校章を組み合わせたというコンセプトで、両校の児童・保護者から最も多くの支持を集めております。
- ・専門部会では、以上の結果を踏まえまして、このアンケートで一番票が集まりました、①のデザイン案を新しい東勝山小学校の校章案として選定されましたので、本日、適正配置検討会議にお諮りして決定してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。
- ・説明は以上でございます。

(藤井係長)

- ・ただいまの校章についての説明につきまして、ご質問、ご意見等はございますか。

(委員)

- ・これはカラーですか。

(藤井係長)

- ・これは単色刷りになります。

(質問・意見なし)

(藤井係長)

- ・それでは、ただいまの事務局から提案がありましたとおり、専門会議で選定した①の校章を東勝山小学校の校章とすることで、よろしいでしょうか。

(異議なし)

- ・ありがとうございます。それでは原案のとおり承認ということで、決定されましたことをご報告いたします。
- ・続きまして、報告事項に移りたいと思います。
- ・まず、報告1、校名・校章・校歌専門部会の報告のうち、校歌に関する進捗状況につきまして、事務局の中條よりご説明いたします。

(中條課長)

- ・それでは続きまして、校歌の検討の進捗状況について、ご報告をさせていただきます。資料3-1から3-3と、資料1とを併せてご覧いただけたらと思います。
- ・校歌につきましては、資料3-1が募集の条件ということで議論いただいたもので、その後、資料3-2で区役所のホームページと、あと、募集チラシをつけておりますけれども、こちらで3月21日から4月30日にかけて歌詞案を一般公募いたしました。
- ・その結果、行政案を含めて18案の応募がございました。応募の状況につきましては、資料3-3をご覧ください。応募地域として、大阪市内から2案、大阪府以外から15案、その他行政案が1案ということで、18案となっております。
- ・現在は、この応募いただいた歌詞案を基に、専門部会で歌詞の選定、検討を行っているところでございます。今後、大阪市の音楽の教員に作曲を依頼しまして、曲も合わせて校歌案を専門部会で確認し、仮決定をしていく予定でございまして、専門部会で仮決定いたしました校歌をこの検討会議にお示しし、最終確認いただいて決定をしていくという流れで進めてまいりたいと考えております。

- ・現在の進捗状況につきまして、ご報告は以上でございます。

(藤井係長)

- ・ただいまの報告につきまして、ご質問、ご意見ございますか。

(質問・意見なし)

- ・よろしいでしょうか。
- ・ありがとうございます。本件に関係に関する報告は、以上といたします。
- ・続きまして、報告2、通学路の安全対策専門部会の報告について、事務局奥田よりご説明いたします。

(奥田課長代理)

- ・改めまして、奥田です。よろしくお願いいたします。私も着座にてご説明させていただきます。
- ・では、次のクリップ留めの資料4をご覧ください。通学路の安全対策につきまして、報告させていただきます。
- ・通学路の安全対策専門部会につきましては、東桃谷小学校区と勝山小学校区のそれぞれの部会の分会として進めていましたが、昨年度3月12日に両地域共通の通学路の安全対策専門部会を開催いたしました。
- ・議事にありますように、安全対策の課題及び進捗状況、通学路、交通量調査についてご議論いただきました。
- ・1つ目の黒のひし形のところでございますが、主な確認事項等としまして、まず議事資料、A3の資料1と2、資料1が地図で、その地図の番号に対応した一覧表が、資料2になってございますが、それに沿いまして、学校の通学路と、これまで各地域での部会で出ました課題と対策の検討の進捗状況及びグリーンラインやニート塗装などの安全対策実施場所について説明し、決定いたしました。
- ・なお、この工事の実施時期でございますが、今年、令和7年の10月頃から3月頃にかけて工事を予定しております。
- ・次に、A3になりますが、議事資料3、こちらは3枚ございますが、勝山通の歩道の安全対策及び区役所前の安全対策、児童の待機場所等について説明いたしました。
- ・現在、路面シールのデザイン案につきましては、専門部会委員の皆様からデザイン案のご提案や、あとこの資料上は英語しかないですけれども、多言語対応というご意見をいただいておりますので、これも踏まえまして、交通管理者や道路管理者との調整を今進めているところでございまして、最終的な決定を行う予定となっております。
- ・なお、路面シールのデザインにつきましては、調整が完了次第、皆さんにお示しさせていただく予定としております。
- ・この議事の中では、児童の待機場所で信号が青になったときに、児童待機スペースから飛び

出した子どもと、信号無視の自転車が接触する可能性があり、危険と感じるといった意見がございました。

- ・開校後しばらくは、警察や区役所職員が立ち番を行い、安全な通学ができるように啓発をしていくこととしました。あと、この勝山通の路面シールと区役所前の路面標示の実施時期ですが、路面シールは今年中に、路面標示は3月までに実施を実施する予定としております。
- ・次に、最後の資料4に沿いまして、対象箇所の通学路の通行量調査の結果によって説明し、⑥、⑦の箇所で通行量を見ながら、見通しが悪く自転車の通行量が多いことから、電柱への巻き付けシートや、ニート塗装等により注意喚起を行い、安全対策を実施することとしております。
- ・次のひし形の全体を通した主なご意見といたしまして、児童には下校時も通学路を通るように指導してほしいという意見がありましたので、こちらについては、現在も学校から登校時及び下校時も通学路を通るように指導しておりますが、引き続き、登下校ともに通学路を通るように指導を行うこととしております。
- ・次に、再編後の登校は集団登校になるのか、この会議の場で、登校の方法については話はないのか、また見守り方法はどうなるのかという、ご意見もいただいております。
- ・現在は通学路の安全対策の中でも、ハード面、路面標示ですとかグリーンライン等について決定したところですが、今後登校方法や見守り方法等のソフト面についてご議論いただく予定としております。
- ・これらを含めまして、次回通学路の専門部会なんですけど、7月は選挙ですとか地域行事などもあるところなんですけれども、7月から8月に専門部会を開催してまいりたいと考えております。
- ・通学路の安全対策の説明については、以上です。どうぞよろしくお願いします。

(藤井係長)

- ・ありがとうございます。
- ・資料で補足させていただきますと、児童の待機場所というところで、ご説明あったんですけども、こちらは区役所前、こちらに大きく緑で印をつけようかなと思っております。
- ・それでは、ただいまの通学路の安全対策部会について、ご質問、ご意見等ございますか。

(委員)

- ・12番のところで、東桃谷地域じゃないところの質問になってしまうんですけども、横断歩道を引くのを検討中って、ずっと検討中なんですけれども、これはどんな状況か教えていただきたい。

(藤井係長)

- ・こちらの12番は、生野警察に先週にも確認は行っているんですけど、本部のほうも現地を確認して、また車の通行量も現在測っているところです。あと設置場所が、駐車場が多い道路となっておりますので、そこをちょっと慎重に今検討しているということで聞いておりま

すので、まだつけられる、つけられないっていうのは、回答はまだということです。

(委員)

- ・つけられない可能性も？

(藤井係長)

- ・そうですね、12 番の場所からちょっと離れた場所になるとか、そういう可能性もございます。ただ、つけてほしいという依頼はずっとかけております。

(委員)

- ・ずっと検討中やもんな。次には何か答えを。

(藤井係長)

- ・はい、答えられるよう確認いたします。

(藤井係長)

- ・ほかに何かございますでしょうか。

(委員)

- ・すいません、ちょっと戻るのですがけれども、校章の点について、募集のところで注意事項等で、必要に応じて一部修正、補正する場合がありますのでご了承くださいとあるので、もう少しこうなったらいいのになという、希望のようなものとして、今の段階でもし可能でしたら聞いてほしいんですが、資料2-3を開けていただいたら、もう皆さんすぐ納得いただけると思うのですが、一応①に決まった、それはそれで結構なんですが、こうして見みると、まずマークって分かりやすさというか、視認性というか、これ、ちょっと見てみて、ごく当たり前のように、⑤ってすごくすっきりしているなど。要するに字が読みやすいですよ。
- ・つまりマークっていうのは、感覚的なものと、それとやっぱりそれが何かということは、情報としては文字だと思うんですけど、これは何かというと、まず1つには大きいということもあるんですけど、文字の選び方がすごく理にかなっているというか。というのは、これ普通、決まって、それを展開、アプリケーションというような言い方を今はしますけれどね、大きくしたり小さくしたりとか、ほかの、例えば今の①を大きくしたり小さくしたりやったら、既にこの場面でも潰れてると思うんですよ。帽子につけたりとか、パッチにして小さくとか、名刺に入れるとか、大きい場合は、随分大きな旗を作るとかっていうことになったりして、結局、小さくともやっぱりちゃんとそれが分かるということ、大きくなってもあまり間延びしないという、何かそれなりにそのマーク、校章としての1つの格というか、気品というか、そんなことを持たれているというようなことの上から言うと、これはどう見ても、やっぱり⑤のほうが、これにしてくださいという意味じゃないんですが、修正のすごく

1つの見方、参考になったと思うので。どっちかというところとすごく分かりやすいというのは、文字の選び方、それから文字の太さみたいなのは、⑤は適正だと思うので。ですから、できるだけ、今の①を修正、補正していく上で、ぜひ⑤を参考にいただいたら。

- ・それと、もう一つは、これ、ぱっと見て皆さん方が納得いただけると思うんですけど、そういう意味では④とか②とか⑥とかというのは、これは小さくすると切れたり、見えなくなったり、潰れたり、そういうような状況ですし、②の場合は装飾的なんだけど、ちょっと何か校章としての1つの印象がちょっと離れてくるから、煩雑になってきていると思うんですよね。そういう意味でいうと、⑤というのは、太さ、そういうのが一定してますよね。
- ・そういう意味でいうと、①の場合は、太さがほかのマークの装飾部分というか、そんなところがすごく太かったり細かったり、というのは、その線1つとっても煩雑で、これを見てみると、肝心の東勝山という文字が中で負けてしまっているというか、ご覧いただいていると、そういう印象を多分持たれると思うんですね。
- ・ですから、この大きさでしか表現できないのであれば、できるだけ外の線などは、つまり東勝山の文字より勝つような太い線はもう使わないで、あくまでそれは東勝山の部分を活かしているというか、支えてるというか、そういう、相対的に一番中心になる文字の力というのを引き出すようにというか、そういうような構成に。この中でなぜその細い線とか太い線とかがいっぱい使われているのかがあまりわからなくて。花の小さな線、僕はこれはもういいんじゃないかと思うんで、せめて2種類ぐらいで、極力文字の大きさを確保するような、一般的な校章としての、1つの表現の機能性というか、その意味において、⑤が非常に優れているんじゃないか、要するに、実際に使っていくと、そのことをものすごく実感してくると思うので。これはもう小さく潰れていて見えんとか、大きくしたらなんかすごいだらっとしているとか。そういうようなことからいうと、非常にその空間の処理が。
- ・ただ、後々扱いやすいという意味で。なので、できるだけ⑤のよさをうまく①に活かしてもらえるような修正の仕方というか、そういう方向で考えていただけたらありがたいなと。ちょっと参考にしてください。

(中條課長)

- ・ありがとうございます。
- ・今いただいたご意見は、せっかく新しい学校の名前を入れているのに、デザインに校名が埋没するのではないかと、そういう印象があるというご指摘かと思います。校章につきましては、当然、校名板でありますとか、体育館の緞帳とか、そういうところにも入ってきますので、そのときに、デザインばかりが勝って校名が埋没しないように、慎重に対応させていただくようにしてまいりたいと思います。

(委員)

- ・お願いします。

(藤井係長)

- ・ありがとうございます。それでは、ほかご質問、ご意見ございますか。
- ・よろしいでしょうか。

(質問・意見なし)

- ・それでは、続きまして、報告事項の3ということで、東勝山小学校の教育につきまして、こちらのほうは、例年新小学校1年生とか新中学校1年生の保護者様向けに作成しております学校案内の骨子といたしまして、東勝山小学校の教育についてということで説明をしているものになります。
- ・それでは、こちらのほうは、両校長よりご説明をいたしますので、よろしくお願いいたします。

(末綱校長)

- ・皆さん、こんばんは。東桃谷小学校の末綱でございます。
- ・新しい学校、東勝山小学校の教育ということで、これから説明のほうはさせていただきますが、これをつくるにあたりまして、東桃谷小学校の今の教育の取組み、それから勝山小学校の教育の取組みをすり合わせる作業をする中で、全く新しい学校にはなるんですけども、この2校の取組みのこれまでの歴史を全く考えないで新しい学校はあり得ないので、前提として、これまでの2つの学校の取組みを双方比べながら、共通なものは何なのかなであるとか、うちのいいところは何かな、勝山小学校のよさは何かなっていうところも大事にしながら、本当にそれぞれの教育目標を横に並べて、これとこれは同じだよね、同じことだよねというところを確認しながらつくりました。
- ・それから、日がたつのがとても早くて、令和8年の4月に向けての準備のほうが大丈夫なのかなという不安を2人とも持ちながらこの日を迎えているんですけども、大事にしていることは、やっぱり今やっていることを令和8年度からスムーズに進められるために、教職員でそれぞれの取組みを突き合わせて、準備をしていこうということで、まずは子ども同士の出会いを進めていかないと、4月にスタートしていきなり新しい仲間が増える、それはいいことだけれども、そこからスタートするじゃ遅いので、今年度からできる交流を進めましょうということで、先月、先生同士で話をする中で、うちと勝山小学校の学年担任同士で、こういった短い期間ではあるけれども、どんな取組みができるのかな、交流ができるのかなという話合いをして、もう既に交流が始まっている学年もありますし、年間を通じて2回または3回の交流を、学年の実態に応じた形で進めてます。
- ・あとで徳元校長先生からも補足があると思うんですけども、そういうことも考えながら、東勝山小学校の取組みについてまとめてみましたので、これから説明をさせていただきます。
- ・まず新しい学校の教育目標ですけども、豊かな心を持ち、自他を大切にする子どもを育てるところです。これは2つの学校の教育目標をすり合わせて、これがいいのかなという形でまとめました。

- ・その教育目標があり、めざす子ども像ですけれども、よく学ぶ子、意欲的に学習に取り組み、対話を通して考えを深める子ども。
- ・2つ目が、思いやりのある子。互いの良さ、違いを認め合い、それから互いに高め合う子ども。
- ・3つ目が、心身が健康である子。自らの健康に気をつけ、進んで運動に取り組む子どもというところです。
- ・学校の重点目標ですけれども、いろいろあるんですけれども、それをコンパクトにまとめるのであれば、よい習慣をつけるというところで、それはどんなことかということ、学習習慣であったり、生活習慣というところですね。
- ・その中で3つに分けています、主体的に学ぶ力の育成、互いに高め合う集団の育成、健康・体力の保持増進というところで、この3つの良い習慣をつけるというところです。
- ・1つずつ見ていくと、まず主体的に学ぶ力の育成というところでいきますと、主体的、対話的で深い学び、これは今や大阪市だけでなく、全国の学校で言われる教育の核となるところなんですけれども、そういう学びを展開することと、学ぶ意欲を向上させるというところですね。
- ・深い学びというのを実現する子どもの姿というのを、我々教職員が共通理解を図る授業をどんなふうに組み立てて、デザインしていくのかというものを、そういうものを考えながら授業を創り出す、授業を進めていくというところですね。その中でICT機器の効果的な活用、子どもたちが思考し続けることができる工夫を、こういった機器を使って授業を進めていく。
- ・また、本校も勝山小学校も大事にしている読書活動ですね。豊かな読書活動と、桃谷中学校との小中連携でも進めている英語教育の充実、それから小中連携でいくと、中学校区の小中学校との連携。こういったところで、主体的に学ぶ力を育てていきます。
- ・2つ目の互いに高め合う集団の育成ですけれども、心の醸成とよりよい集団づくりへの取り組み、自己肯定感の向上への取り組み。本校も勝山小学校も縦割り活動をすごく大事にして、年間通じての取り組みを進めています。徳元校長と話を進めていく中で、そこについては、新しい学校でもぜひ核となるような取り組みとして、進めていかなければならないよねという話を進めています。
- ・表現する場の設定による自己実現の達成、児童会活動の充実、主体的に決まりを守ろうとする児童の育成、きめ細かな生活指導をしていくということ。あと人権教育、特別支援教育の充実。
- ・3つ目、健康・体力の保持増進ということで、健康的な生活の確立、自らの健康、体力向上に関心を高め、実践しようとする態度の育成というところで、体力向上ですね、あと自分の体、健康についてしっかり意識を持って取り組みを進めていけたらなというところです。
- ・特色ある学習活動としまして、ここからは徳元校長先生にバトンタッチしたいと思います。

(徳元校長)

- ・失礼します。今の末綱校長先生の説明にも出てきたものもありますので、ちょっと重なる説明もありますが、今相談している中で、特に特色としてやっていこうというものを、今日は

5つ挙げさせてもらっています。

- ・先ほどもあったように、教員同士の今話合いをいろんな場で持っていて、各学年同士の話合い、それ以外にも校務分掌といって、教科の担当だったり、生活指導とか児童会とか、教員がそれぞれ担当を持っていますので、そういう担当同士の話合いなども含める中で、先生方同士の話だったり、我々の話の中で、ぜひこれをやっていこうというのを、この5つ以外でも話をしているところがあるんですけども、一旦今日はその中から5つご説明をさせていただきます。
- ・1つ目は、先ほどもありました縦割り班活動の充実ということで、それぞれの学校で、ずっと継続して取り組んできている取組みもありますので、それは大事に取り組んでいこうということで、1つ目に挙げさせていただいています。
- ・先ほどもあった交流を進める中で、今度9月3日に、ひがももカーニバルという児童会が中心になって、縦割りでお店を出すところを、縦割り班で回っていくっていう行事があるんですけども、そこに勝山小学校も縦割り班で参加させていただいて、縦割り班同士の交流もさせていただく予定になっています。
- ・2つ目、外国語学習、英語学習ということで、こちらも先ほどもありましたが、桃谷中学校のほうから C-NET の先生と英語の教員が、週に1回それぞれの学校に来てくださっています。
- ・それはなかなか大阪市内でもこんなに頻繁に来てもらっているところはないので、C-NET は行ってる学校はあるんですけども、中学校の教員も来て一緒に入ると、英語でずっと授業が流れているというようなところなんですけれども、これはぜひ特色として継続してやっていこうということで、話をしております。
- ・3つ目、ユニバーサルデザイン学習の充実ということで、これもそれぞれの学校で、例えば東桃谷小学校は生野の聴覚支援学校との交流をされていたりとか、勝山小学校でも障がいを持っておられるのアーティストの方に来ていただいて芸術鑑賞をしたりというようなことだったり、生野の地域ということで、コリアンタウンの探検に行ったりという多様性を大切にしようという学習もしています。そういったところを特色として継続してやっていきたいというふうに思っています。
- ・4点目、漢字能力検定、日本語検定の模擬試験にチャレンジというふうにさせてもらっているんですけども、学力向上の一環として、これは東桃谷小学校が継続して取り組んでられていることなので、ぜひそれを継続してやりましょうということで、4つ目に入れさせていただきます。
- ・5つ目、図書室の環境整備と読書活動の充実ということで、これも先ほどもありましたが、どちらも力を入れてやっていることでもありますし、両校にそれぞれに図書館司書の方が、同じ方に来てもらってるんですけども、非常によい図書があって、こちらにはあるけれど、こちらにはないという本もあるので、それを慎重に今選定してしまっていて、いい本を残して、さらにちょっと環境も整備して、子どもたちが行きたくなるような充実した図書室を整備して、読書活動を充実させていきたいなというふうに思っています。
- ・これ以外にも、それぞれの学校で取り組んでいることがありますので、今後秋には学校説明

会をしますので、そのときにはもう少し詳しくお話しできたらなというふうに考えています。

- ・最後に、主な年間行事予定なんですけれども、こちらのほうも、今、校長、教頭、教務主任等で行事予定もすり合わせをして決定していつているところです。大体、学校それぞれ取り組んでいることは同じなんですけれども、修学旅行はどこにいつ頃行きますかというような詳しい話も、現在進めているところです。全体を通しては、以上になります。
- ・子どもたちが期待感を持って4月を迎えられるように、交流と教育内容の充実を図るために、今話合いを進めているところですので、また引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

(藤井係長)

- ・ただいまの東勝山小学校の教育につきまして、ご質問、ご意見ございますか。

(委員)

- ・先日ちょっと徳元先生には、少しお話しさせていただきましたけども。今後の東勝山小学校に向けてのいろいろな動きの中で、交流とか非常に楽しい前向きなわくわくをするような、そういういろんな企画を今進めていただいているということで、ホームページとかにもいろいろアップされているものを見させていただいてるんですけども、これは勝山小学校だけのことになるかもしれませんが、やっぱりうちは分割統合になりますんで、わくわくしたまま急に結局僕は生野未来学園に行くんだ、とかになることも当然考えられるので、現場の先生には、ぜひそういう子どものケア、子どもはそっち行くと思っていても、親はどうか分からないところがまだありますので、その辺のケアをぜひ100%行くとは限らないので、95%はいるとは思いますが、残りの5%の方の子どもたちのケアもしながら、ぜひよろしくお願いいたします。

(藤井係長)

- ・ありがとうございます。

(委員)

- ・その関連で。勝山小学校の子どもさん、何人、生野未来学園に行くのかちょっと人数分かってないのですが、東桃谷小学校さんとの交流はすごく理解できたのですが、生野未来学園さんとの交流はどのように、またこのようにするのか、数が少ないから置いとくのか、その辺がちょっと見えてこないの、関連で同じような質問やと思うんですけど、合わせてご検討いただけたらと思います。

(徳元校長)

- ・生野未来学園との交流も進めるようにということで、今生野未来学園とは相談をして、7月が多いんですけども、7月もしくは9月の頭ぐらいには、一度は生野未来学園に行くように、計画を進めているところです。学校選択制の調査の前に、行けたらなというふうに思っています。

- ・子どもたちにも、それぞれのクラスでお話はしてもらっているんですけども、私のほうから一度交流を進めている意味であったり、いろんな選択をする子がいるんだよってというお話を、この間会長ともお話しさせてもらったので、話を子どもたちにしないといけないかなというふうに思っています。

(藤井係長)

- ・ほかに何かございますか。

(委員)

- ・すいません、またちょっと少し観点が変わってくると思うんですけども、私は東桃谷地域のほうで、まちづくり協議会という組織があって、そこで3期会長を務めさせていただいて、このたびこうして2つの学校が閉鎖になって新しい学校が生まれると、これは、私たちの感覚というか、話の情報の在り方というのが、その理由として、子どもの数の減少であるとか、それは予算であったり、つまりどんどんどんどん縮小してくるので仕方なしにというのは、どうしてもネガティブな要素で受け取っていらっしゃる方が結構多いんですよね、これはもう仕方がないなという。
- ・でも、どうしても地域の子どもが社会の中でいてると、一方で一緒に多様化した社会であったり、あるいはもっといろんな、お互いに尊重し合うとか、そういうようなことは話をされるんですけど、なかなか町会というのは、学校というのは1つの地域性から始まって運営されてるものですから、トランプさんではないですけども、なぜか地域ファーストみたいな感覚で落ちるところがあったりするんですよね。
- ・でも、できれば、立場上なんですけれど、これ、仕方がなしにこうなってきたっていうのではなくって、考えようによると、だからこそ新しい1つの方向というか、解決策というか、展望というか、この機会ですごくみんな一人一人が新しい発見というか、交流が生まれてきた、新しい何かにつながっていったり、それこそその教育の1つの波及をしている効果というんですか、そういうので、この一連のこういう校章なり校名なりを作っていくときに、もちろんその根拠となるのは、行政的に地域の名前であるとか名称だとかっていうことになってくるんですけど、もう一方で、ちょっと冗長的な表現ですけど、生野区というのは、特にこの地域、子どもたちの今の生きてる生活の環境というのは、もう本当に実感するのは、周りに、子どもも含めて、いろんな、それこそいろんな多様な言葉、人たち、人種の人たちってしてるんですよね。
- ・そういう意味で、今度の学校もやっぱり新しい出会いがあって、何か違う人と出会っていくのは、すごく楽しいっていうか、面白いっていうか、すごくわくわくするっていうか。それぞれの、ちょっと、学校の方針、教育方針を聞かさせていただくと、どうしても言葉はちょっと悪いですけど、どうしてもちょっと類型的っていうか、総花的になってしまうようなところに、できれば子どもたちに、今ある、これから生まれてくる環境が、ものすごく自分たちにとって楽しくなるものだというような気持ちになってもらえるような、1つのそれなりの方針が、そこに工夫として持ち込まれたら、例えば具体的にそういういろんな国の子どもた

ちも一緒になって、その言葉に触れたり、習慣に触れたり、文化に触れたりというのは、ものすごい面白いみたいな、そういう接触というか、お互いに周りがあるって、理解があるって、そしてそこに何か新しい人間関係の親しみが生まれてくるというか、そんなふうな試みが、僕はそれすごくこの地域の大きな特色があると思うんですよ。

- ・そういう1つのこの地域になればこそその新しい学校の教育の方針みたいなものを、ちょっと具体的な施策としても加わっていったら、すごくありがたいなと思ったりするんで。そういう意味で、互いに高め合うとおっしゃっていただいて、この集団の育成で、それはもう本当に結構だなと思うし、外国語学習もそうだし、ユニバーサルデザインという、これも1つの多様性に応えていく方法だと思うんですけども、要するにそういうようなことを、それがすごく楽しいことだと、子どもたちに、これから新しい次の世界を生きていく自信というか力というか、1つの展望がちょっと備わっていくような、ぜひ、今度の場合は、口ではもうできるだけ、こんなんで、仕方なしでという話じゃないよと、実はもう新しい、そういう課題の中から、自分たちの新しい教育の世界で、ということは、教育というのは、子どもたちの存在っていうのはものすごい地域に、その子どもたちの表情というのは影響するんですよ。
- ・子どもたちがこの機会にもものすごい生き生きとしたとなったら、地域が元気になってくる、明るくなってくるといことがあったりするんで、ぜひどうぞ、そういう仕組みを理解していただけたら、ありがたいなという意見です。

(藤井係長)

- ・ありがとうございます。
- ・ほかに何かございますか。
- ・よろしいでしょうか。それでは全体を通して、何かご質問、ご意見ございますか。

(質問・意見なし)

- ・それでは、以上をもちまして、議題の報告は以上とさせていただきます。
- ・次回の第8回検討会議につきましては、9月を予定しております。開催日は改めて日程調整させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。
- ・それでは、これをもちまして、第7回東桃谷小学校・勝山小学校学校適正配置検討会議を閉会とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。